

公開シンポジウム 2010年3月1日

討議について討議する



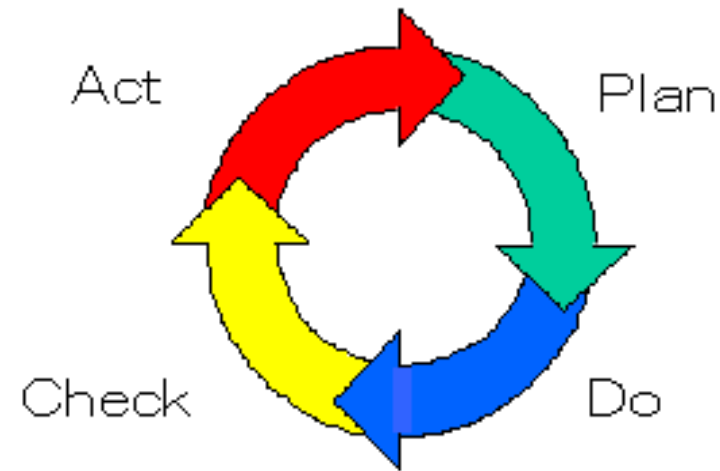
東京大学教養学部附属教養教育開発機構

東京大学の教養教育

専門的知識にとどまらない、
「ジェネリック・スキル」を備えた、
「市民的エリート」の育成

- 本質を見抜く知
- 他者を感じる力
- 先頭に立つ勇氣

「東京大学アクションプラン2006-2008」

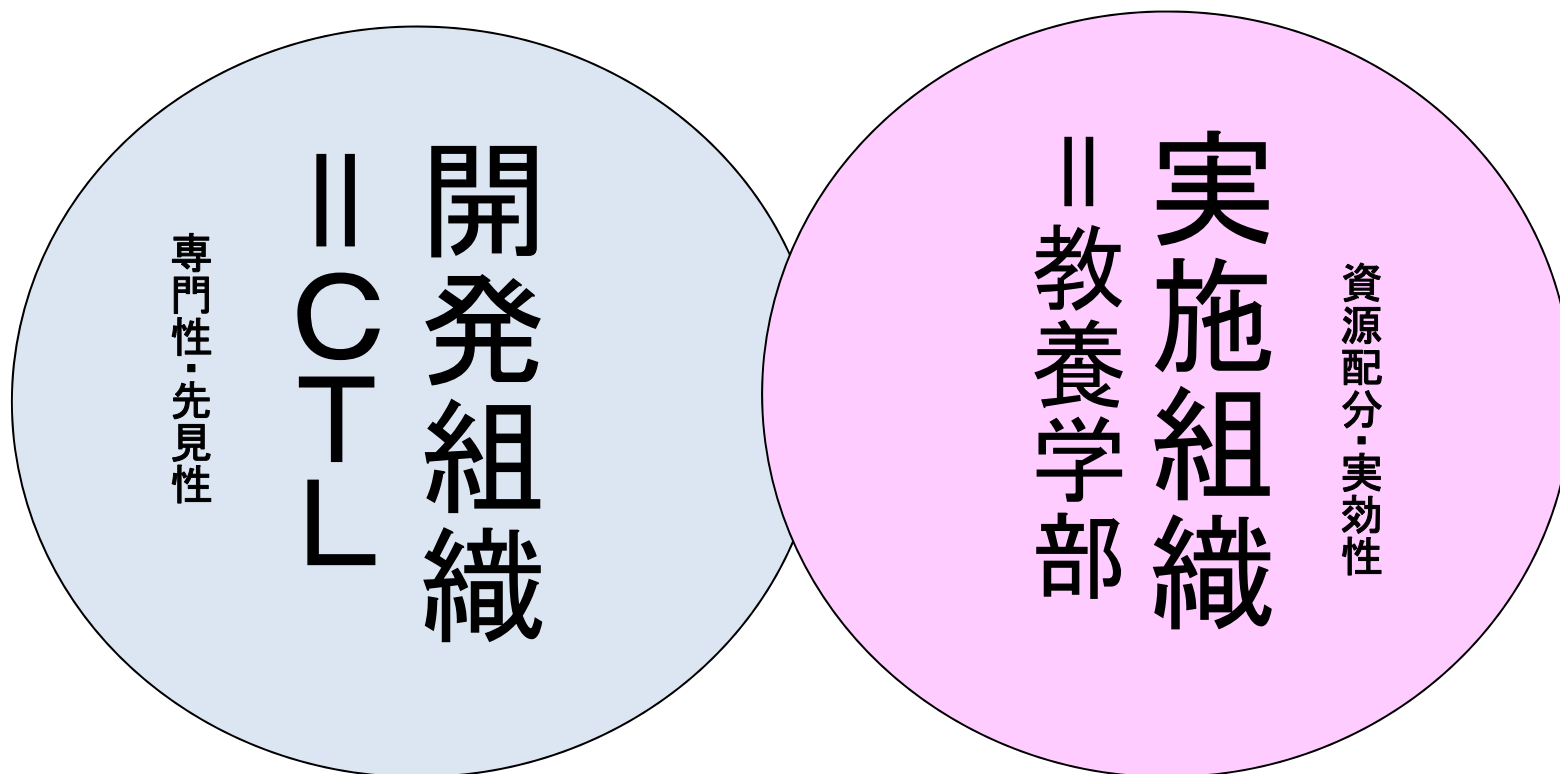


PDCAの概念図

1949年の新制大学発足以来、

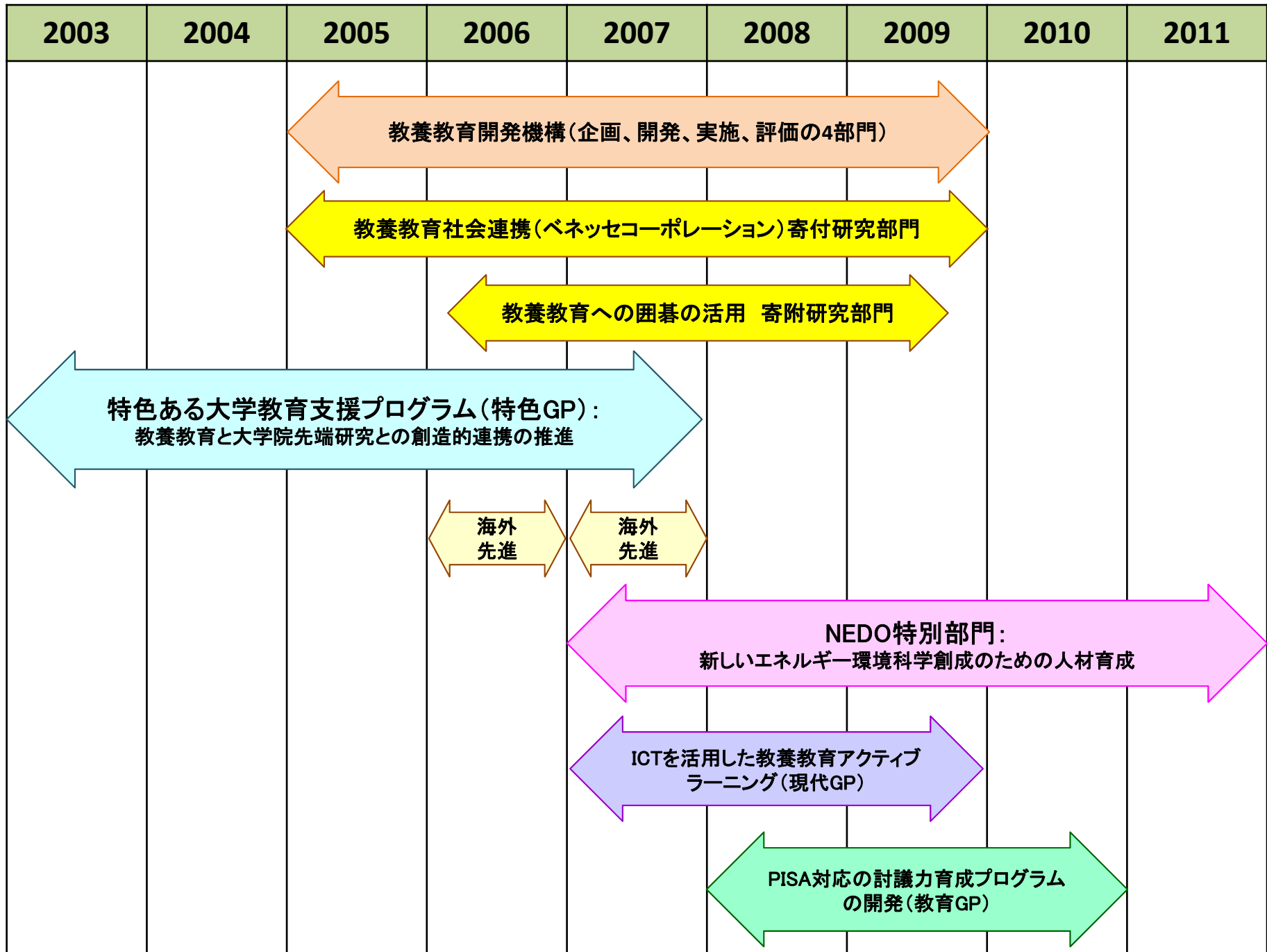
- 1) 一貫した「教養教育(リベラルアーツ)」の理念を主張
- 2) 全国に類を見ない、充実した教養教育の実施体制
- 3) 絶え間ない教育点検・教育改革の実施

教養教育開発機構



動的な二元的組織構成

日本から世界標準の教養教育を発信



2006年度カリキュラム改革(特色GP)

On Campus
東京大学教養学部英語部会 編
Department of English, The University of Tokyo, Komaba



スタンダード
大学で学ぶ英語の新たな標準!
東大発のベストセラー教科書『ユニヴァース』シリーズのエッセンスを受け継ぎながら、新しいコンセプトでおくる
● 文・理最先端のテキスト、より詳細なノート、読みやすい二色刷

東京大学出版会

Presentation / Oral

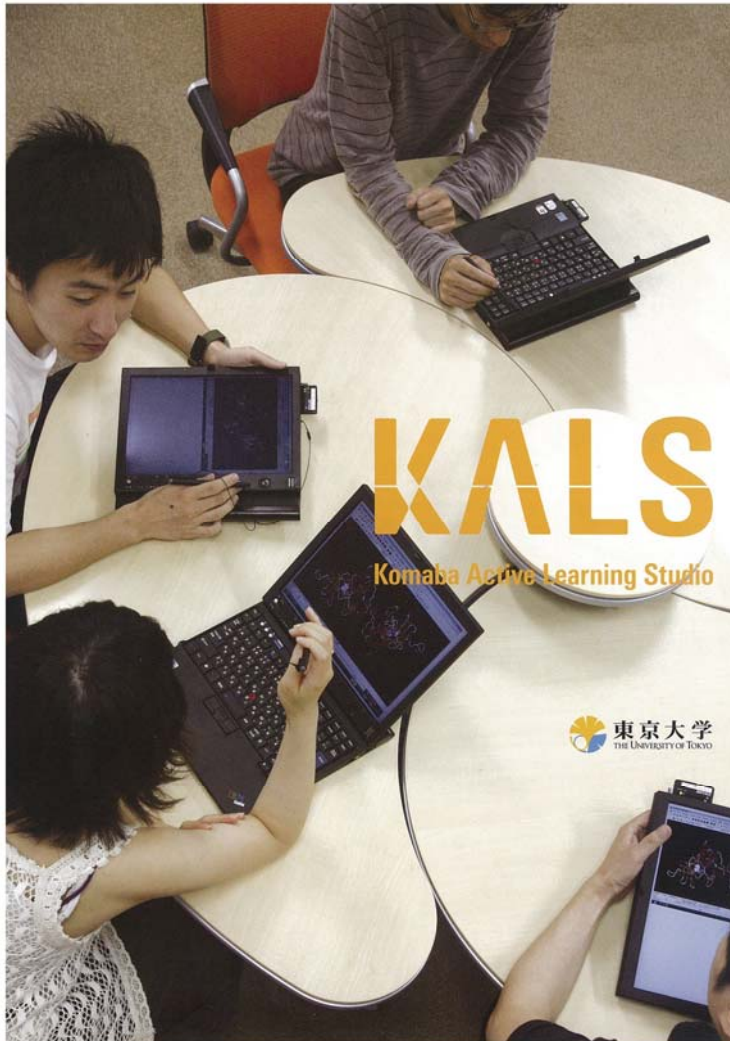
わたしの
PO授業

東京大学前期英語クラス
50のこころみ



東京大学教養学部英語部会・教養教育開発機構

新たな教育モデルの開発へ



ALESS プログラム

*Active Learning
of English
for Science
Students*



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

KOMABA ACTIVE LEARNING STUDIO (現代GP)



教育モデル開発のチャレンジ



「学生中心の学び」
の推進

「学ぶことを学ぶ」モ
デルへの挑戦

国際的な学力観の変化への対応



授業で何を教えたか？(アウトプット)



学生は何を学んだか？(アウトカム)

学ぶ力が学力である
(コンピテンシー)

Student Engagement model
Learner-Centered Education

**TELL ME AND I FORGET,
SHOW ME AND I REMEMBER,
INVOLVE ME AND ...
I UNDERSTAND.**

<http://www.thirteen.org/edonline/concept2class/inquiry/index.html>

「学ぶ」という不思議な経験

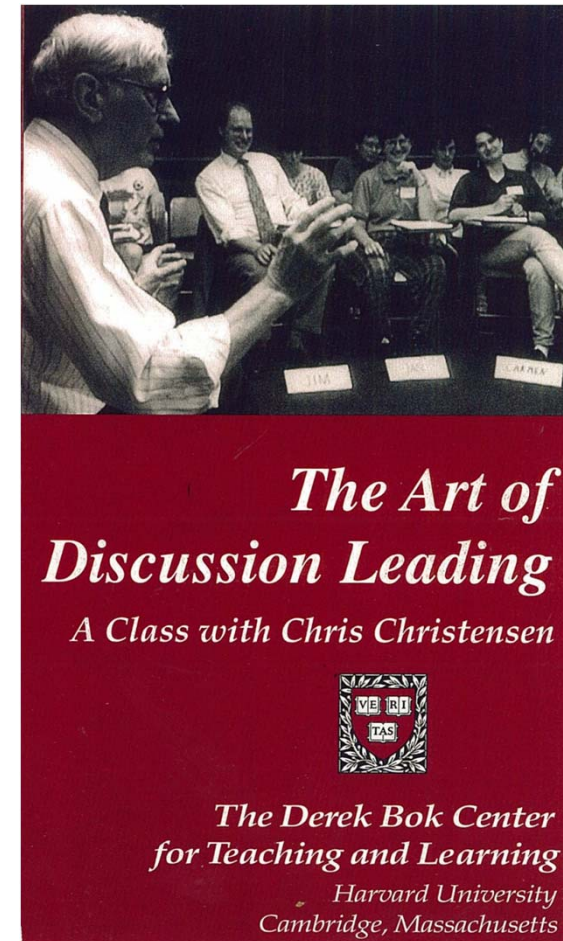


文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム」2008-2010

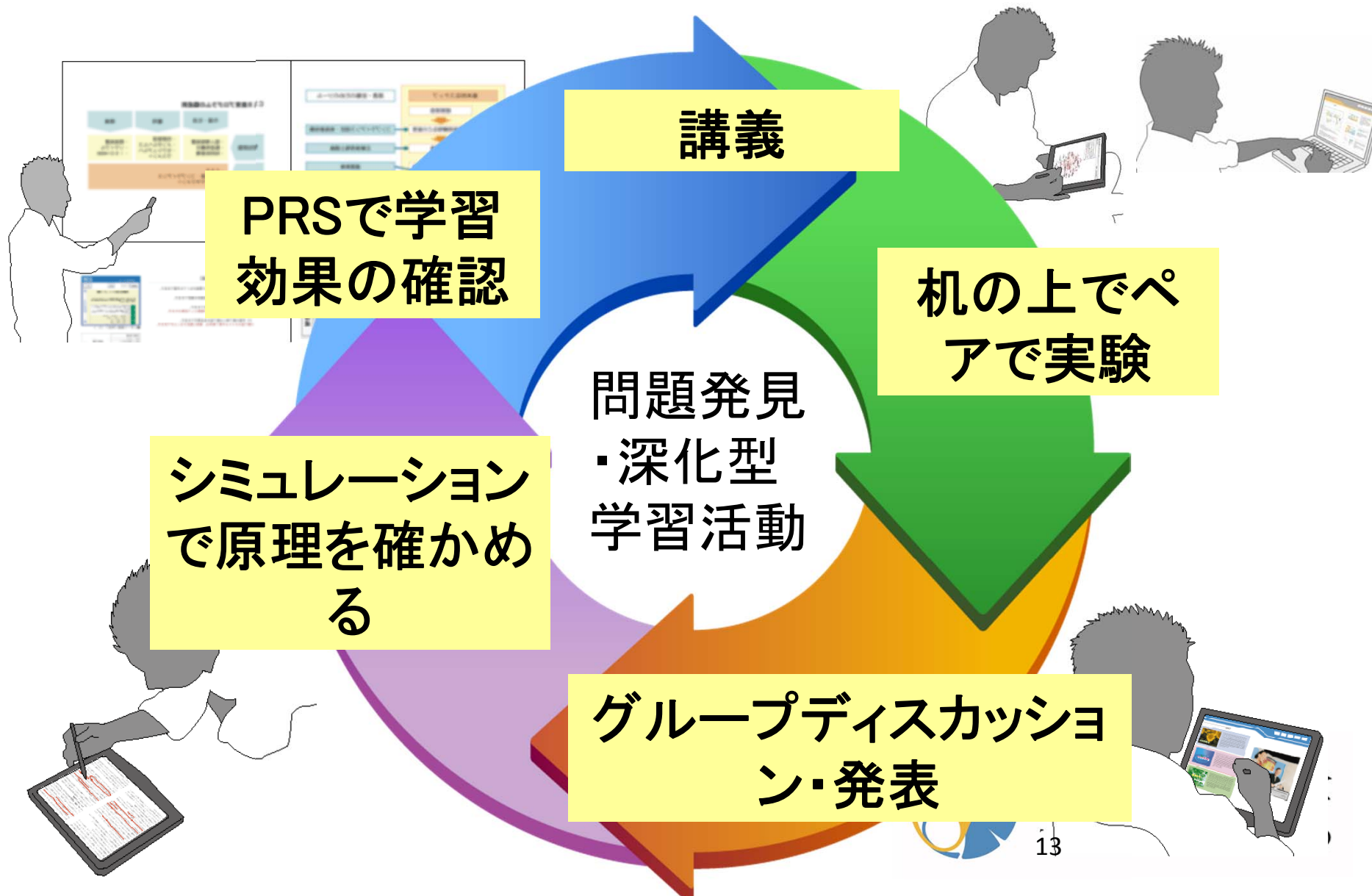
討議を通して深く学ぶ： 高度な学習モデルの構築



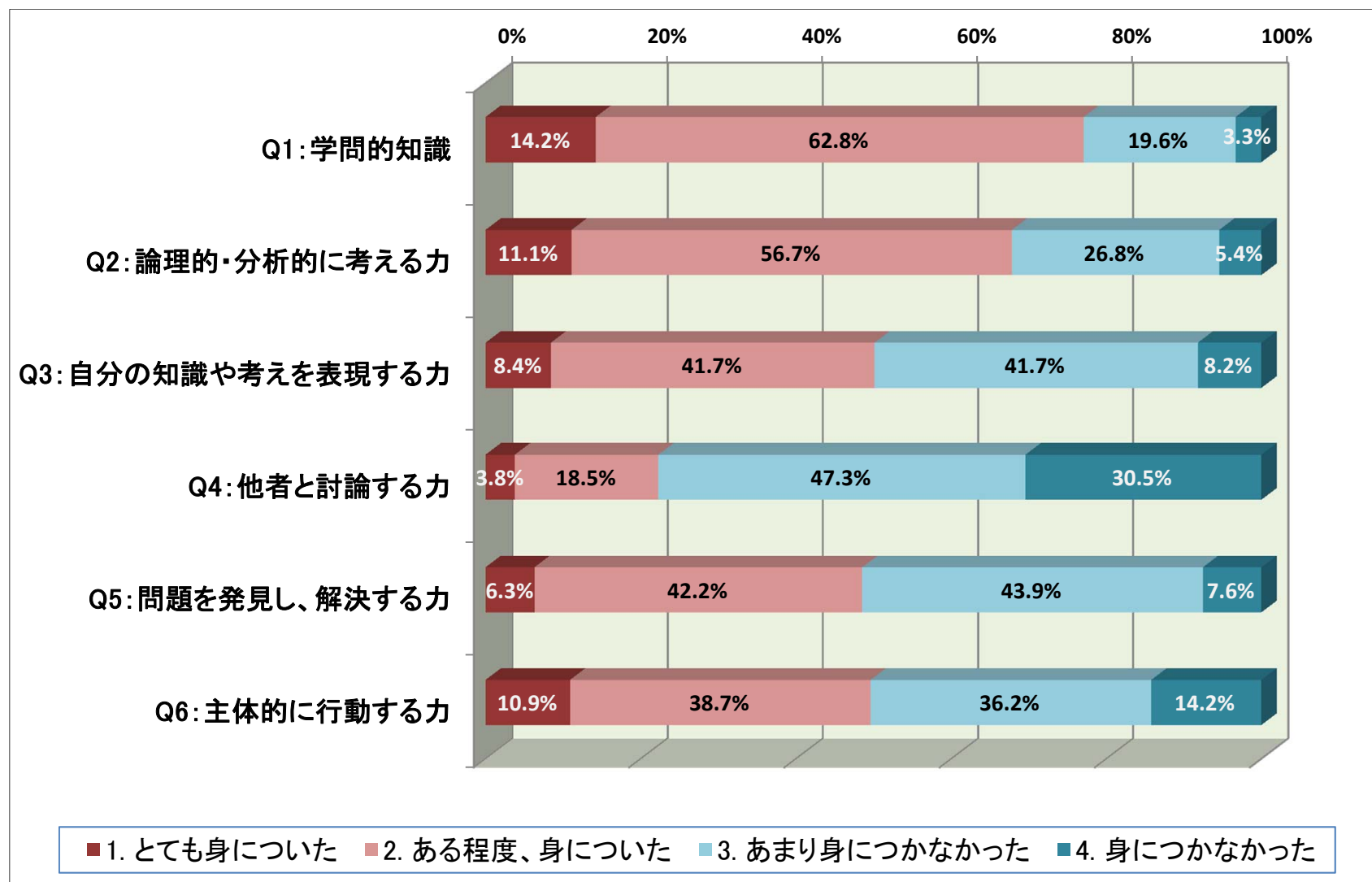
“The Art of Discussion Leading”
Harvard University



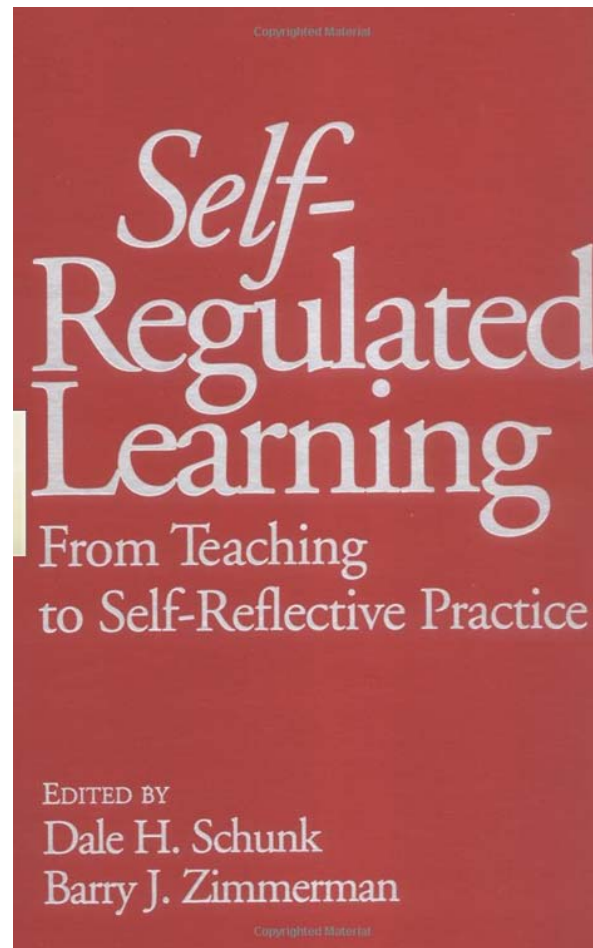
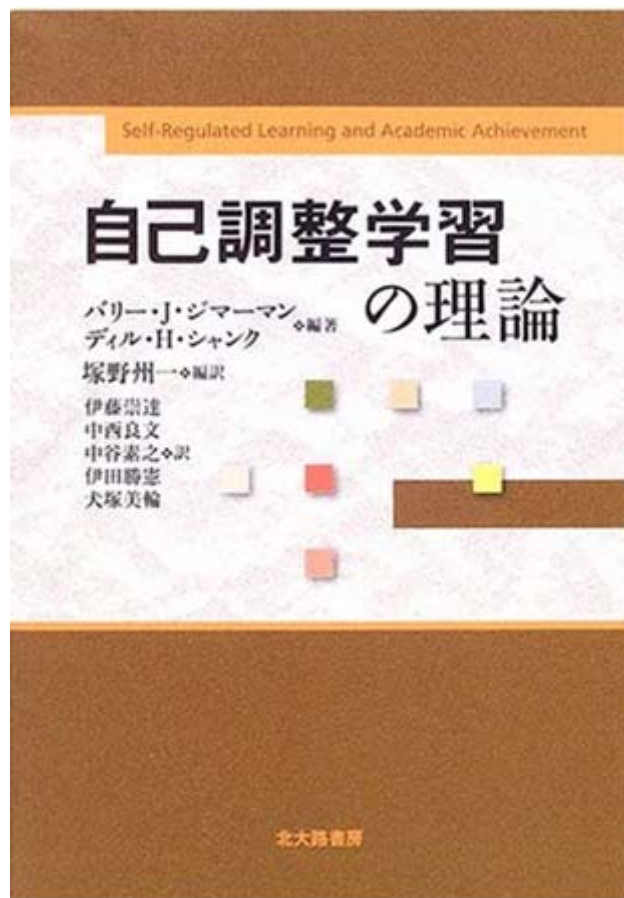
モジュールの授業への組み込み



教養教育の達成度調査(2008)



新しい「学び」の理論



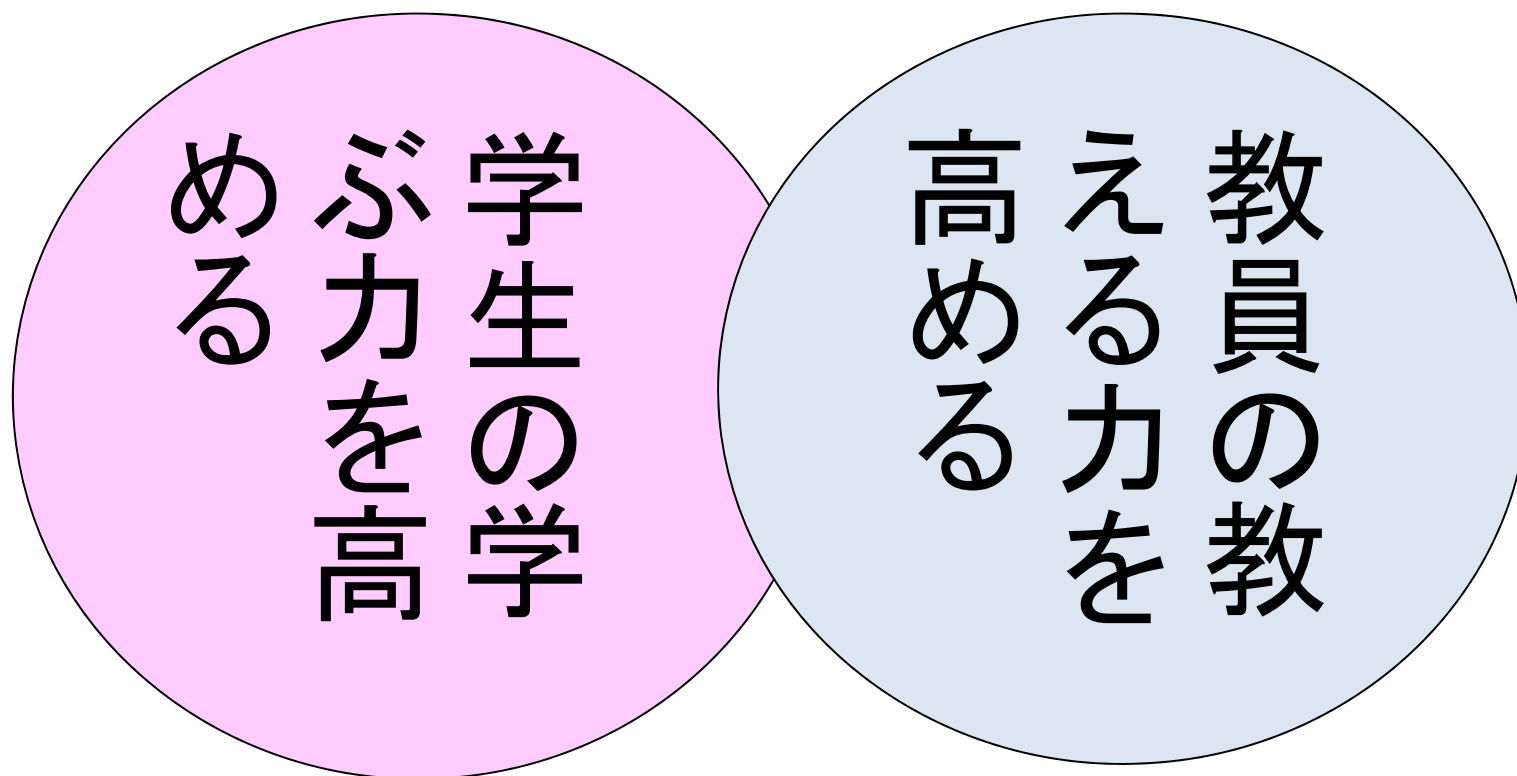
明治期の教育改革

大学ニ於テハ學術ノ攻究ヲ目的トスルヲ以テ、學生自ラ學術ヲ研究スルノ風ヲ存セサル可カラサルニ不拘、我國從來ノ學風ハ、實驗ヲ主トスルモノヲ除クノ外概ネ教授ノ講義ヲ聽聞筆記シ之ヲ記憶シ試験ニ及第スルヲ以テ能事足レリトスルノ弊ニ陥リ自修獨創ノ學風ノ不振ヲ來セルハ大學教育上ノ一大欠点ニシテ、而モ此ノ弊風ハ獨リ大學ニ止マラス、其ノ余弊ノ及フ所總テノ學校ニ通シテ其ノ風ヲナスニ至レリ

一九一八（大正七）年

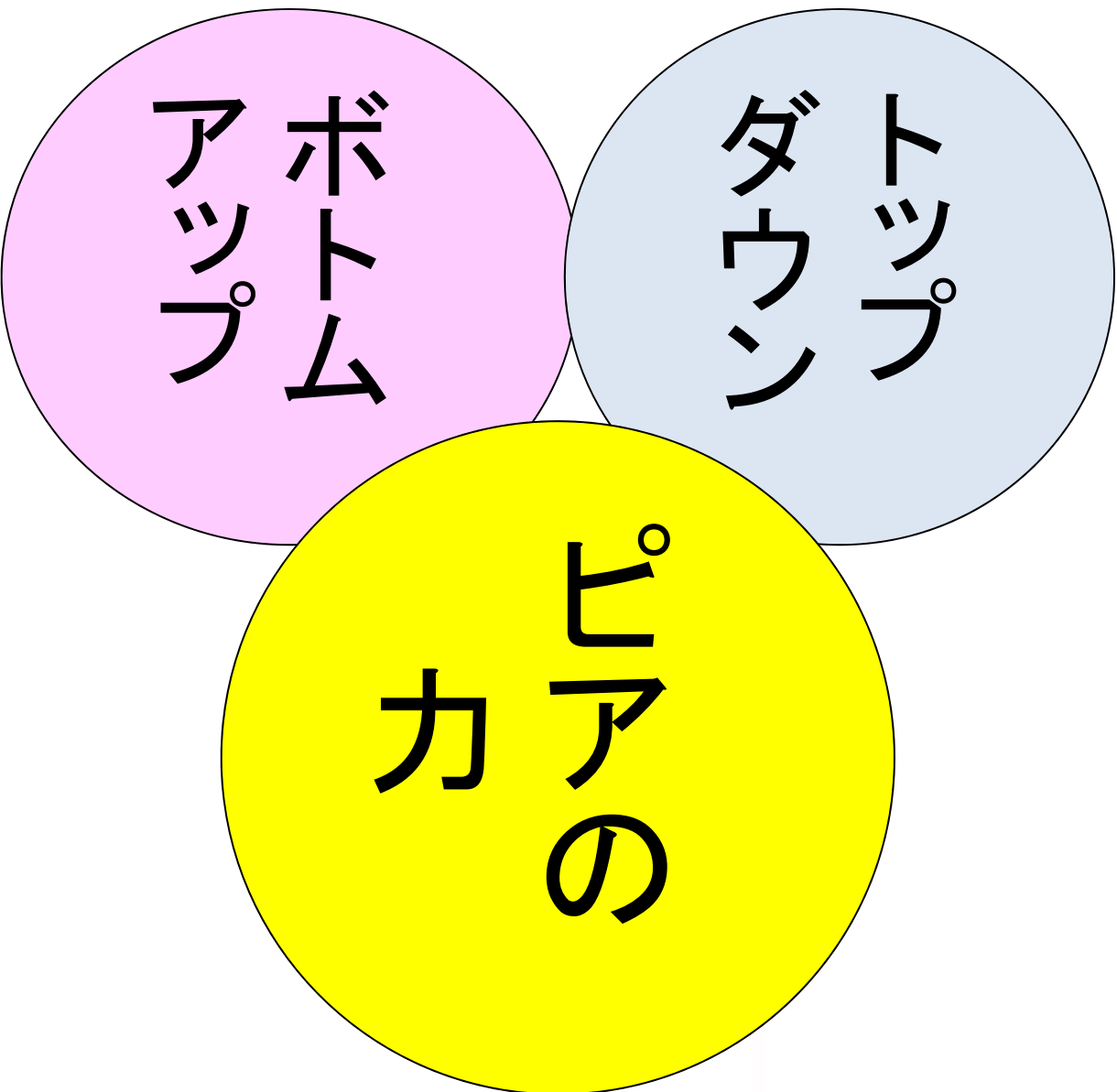
臨時教育會議

教育のアウトカムを高める



理想の *Active learning from both sides* を実現する

学びに資する3つの力



互いに学ぶコミュニティ

Harvard College in Asia Project (HCAP)



今日のアジェンダ

①一人でも多くの教員を巻き込み、一つでも多くの授業に改革を広げるための工夫

②討議力養成に特化した授業を行う必要性

③学生の達成度を評価する効果的な方法